

2002
8

NISHI

「ボランティア活動で、人の笑顔に触れるときが一番うれしいですね」
 黒田澄雄さんは、自らの活動の喜びをこう話します。

黒田さんが、ボランティア活動を始めたのは、十年前に同乗した車で事故に遭い、大怪我をしたことがきっかけ。八ヶ月もの入院を経て、それまで「まったく興味が無かつた」というボランティア活動で、お世話をなつた人や自分よりもっと大変な思いをしている人たちのために何かをしたいと一念発起したそうです。

まちの人

多くの市民活動に参加して、毎日が充実しています。

自らも住民のまちづくり活動を応援する「地域支援クラブ」を立ち上げた黒田さん。昨年十一月には、八軒で「まちづくりワークショップ」を開催し、未来を担う子供たちや高齢者とともに、住み良い豊かな街とは何かを探りました。「子供のころからまちづくりに興味をもつてもらい、協働してまちづくりに取り組む“人”が育つてくれればいいですね」と話します。

く違った活動も始めている黒田さんは、「人の痛みが十あるとするなら、そのうちの一、二は分かるようになつた気がします」と温かみのある笑顔を浮かべます。

「一人でも多くの人にボランティア活動の喜びを知つてほしい」との思いを胸に、これからも自らの行動で活動の輪を広げていくことでしょう。



▲子供たちと一緒に未来の街並みを考える黒田さん

■編集 西区役所総務企画課広聴係
 〒063-8612 西区琴似2条7丁目1-1
 TEL 641-2400 内線224~226
 FAX 612-5264

○西区広報番組「西区情報プラザ」
 FMラジオ三角山放送局76.2MHz
 毎週月曜日午前11時~

○西区ホームページ
<http://www.city.sapporo.jp/nishi/>



くろ だ
すみ オ
黒田 澄雄さん (65)

プロフィル：札幌生まれの札幌育ち。行動・感激・感謝の3Kを信条に地域活動に従事している。所属団体は、主宰する地域支援クラブ、北海道応急手当普及連絡協議会のほか、日本障害者スポーツ協会、北国のライフスタイルを考えるさっぽろライフなど18を数える。西区発寒在住。